

デジタル えほん アワード DIGITAL EHON AWARD Vol.1

本アワードは、「デジタルえほん」というこどもたちがワクワクする
新しいデジタル表現手法の開拓と発展を目的に設立されたアワードです。
企画部門/作品部門 作品募集受付（2011.9.16～2012.1.20）

このたび株式会社デジタルえほん（東京都港区、代表取締役：石戸奈々子）とNPO法人CANVAS（東京都台東区、理事長：川原正人）は、「デジタルえほん」分野の開拓および発展のため、「第1回デジタルえほんアワード」を開催致します。電子書籍という新しい出版のカタチが誕生して以来、日本においても、独自性のあるすぐれた電子書籍が作り上げられています。多くの人にとって、初めて手にする書籍である「絵本」も例外ではありません。子どもたちに夢を与え、想像力を喚起し、現実の世界をより豊かにさせる「絵本」が、デジタルにおいてもさらに子どもたちを魅了する「デジタルえほん」であることを心より願います。本アワードは「デジタルえほん企画部門」と「デジタルえほん作品部門」の2部門から作品を募ります。作品の募集期間は、2011年9月16日（金）～2012年1月20日（金）で、2012年1月末開催の「審査会」を経て、2012年2月25・26日に開催される「ワークショップコレクション(<http://www.wsc.or.jp/>)」（主催：NPO法人CANVAS）にて結果発表及び表彰式を行います。受賞結果はデジタルえほんアワード公式サイトに掲載いたします。

「デジタルえほん」とは？

タブレット、電子書籍リーダー、電子黒板・サイネージ、スマートフォン等テレビやパソコン以外の新しい端末を含む子ども向けデジタル表現を総称して「デジタルえほん」としています。

実施概要

- ・名称 : 第1回デジタルえほんアワード
- ・主催 : 株式会社デジタルえほん、NPO法人CANVAS
- ・協力 : 愛知県立大学情報科学共同研究所、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科、札幌市立大学デザイン学部武邑研究室、女子美術大学、デジタルハリウッド大学、東京工科大学デザイン学部、東京コンテンツプロデューサーズラボ、東京大学大学院 情報学環・福武ホール、東北芸術工科大学、株式会社バンタン、早稲田大学国際情報通信研究センター

- ・募集内容：「デジタルえほん企画部門」と「デジタルえほん作品部門」
- ・応募期間：2011年9月16日（金）～2012年1月20日（金）
- ・応募資格：個人／法人・各種団体、問いません。どなたでも応募頂けます。
- ・応募方法：第1回デジタルえほんアワード、
[応募のご案内 (<http://digitalehonaward.net/award/oubo.pdf>)]をご覧ください。
- ・審査基準：以下の3つの要素に基づき、審査を行います。
 - ・たのしい！（こどもたちを魅了し、夢中にさせる楽しさ）
 - ・みたことがない！（これまで出会ったことのない新しい表現）
 - ・世界がひろがる！（こどもたちの想像力・創造力を育み、世界を広げてくれるしかけ）
- ・賞典：【デジタルえほん企画部門】
 - グランプリ（1作品） 賞金100万円 or デジタルえほん化
 - 準グランプリ（1作品） 賞金10万円
 - 審査員特別賞
 ※グランプリの受賞者において賞金100万円を選択された場合、賞金100万円を使用して企画作品を実際に開発し「デジタルえほん」化して頂きます。
 - 【デジタルえほん作品部門】
 - グランプリ（1作品） 賞金30万円、
 - 準グランプリ（1作品） 賞金10万円、
 - 審査員特別賞
- ・発表：2012年1月末開催の「審査会」を経て、2012年2月25・26日に開催される「ワークショップコレクション(<http://www.wsc.or.jp/>)」（主催：NPO法人CANVAS）にて結果発表及び表彰式を行います。受賞結果はデジタルえほんアワード公式サイトに掲載いたします。
※ワークショップコレクションは、こども向けワークショップ・プログラムの全国普及と発展を目的に、全国に点在するこども向け「ワークショップ」を一同に集め、一般へ広く紹介する博覧会イベントです。前回は約90のワークショップが一堂に会し、2日間で6万2千人の親子が来場しました。
- ・審査員：8名の審査員の皆さまをご紹介します。※敬称略・五十音順



・ いしかわ こうじ / 絵本作家

武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。主な絵本に「つみきくん」「ふねくんのたび」（以上ポプラ社）他、海外でも翻訳版が数多く出版されている。中でも「どうぶついろいろかくれんぼ」かためき絵本シリーズ（ポプラ社）は累計100万部のロングセラーである。1990年代には、デジタルイラストレーションの先駆者として活躍。講談社童画グランプリで大賞、ポローニャ国際絵本原画展で入選、「たまごのえほん」（童心社）で造本装幀コンクール日本書籍出版協会理事長賞など数々の賞も受賞している。



・ 伊藤 穰一 / MITメディアラボ所長

クリエイティブ・コモンズ議長（前CEO）。Mozilla Foundationボードメンバーや経済同友会メンバー、国際教育文化交流財団理事等も務める。日本のインターネット普及・伝承の第一人者であり、インターネット黎明期から様々なネット関連企業の立ち上げに関わってきた。郵政省、警視庁等の情報通信関連委員会委員を歴任するなど各方面で活躍し、2011年4月にMITメディアラボ第4代所長に選出された。



・ 角川 歴彦 / 株式会社角川グループホールディングス取締役会長

早稲田大学第一政経学部卒。内閣官房知的財産戦略本部本部員、東京大学大学院情報学環特任教授、早稲田大学客員教授、財団法人角川文化振興財団理事長なども務める。2010年、角川グループとして、スマートフォン・タブレット端末向け電子書籍配信プラットフォーム「BOOK☆WALKER」（ブックウォーカー）を開発。ライトノベルを中心に、あらゆるジャンルの電子書籍を配信している。著書に『クラウド時代とクール革命』（角川oneテーマ21、2010年）がある。



・ 香山 リカ / 精神科医・立教大学教授

東京医科大学卒業。学生時代より雑誌等に寄稿。その後も臨床経験を生かして社会批評、文化批評、書評などを手掛け、現代人の「心の病」について洞察を続けている。専門は精神病理学だが、テレビゲーム等のサブカルチャーにも関心を持つ。教育問題をはじめとした、心の問題を中心に幅広いテーマをもつ。主な著書に『しがみつかない生き方―「ふつうの幸せ」を手に入れる10のルール』（幻冬舎新書）、『香山リカの学力論―子どもにつけたい3つの力』（フォーラム・A）、他多数。



・ 小林 登 / 東京大学名誉教授・国立小児病院名誉院長

東京大学医学部医学科卒業。医学博士。東京大学医学部小児科教授を経て、1984年国立小児病院小児医療研究センター初代センター長。87-96年国立小児病院院長。その間、臨時教育審議会委員、日本小児科学会理事、国際小児科学会会長など、多くの政府委員、学会役員を歴任。現在、ベネッセ次世代育成研究所およびチャイルド・リサーチ・ネット（C R N <http://www.crn.or.jp/>）所長を務める。小児科医として長年にわたり、育児・保育・教育などの問題を総合的にとらえた「子ども学」を提唱。主な著書に『こどもは未来である』、『子ども学』、他多数。



・ 杉山 知之 / デジタルハリウッド大学学長

1979年、日本大学大学院理工学研究科修了後、日本大学理工学部助手。87年より、MITメディア・ラボ客員研究員として3年間活動。94年10月、デジタルハリウッド設立。2004年「デジタルハリウッド大学院」を、2005年「デジタルハリウッド大学」を開学。著書「クール・ジャパン世界が買いたがる日本」（祥伝社）など多数。クリエイターの育成、インターネットビジネスの発展に力を注いでいる。



・ 水口 哲也 / クリエイター、プロデューサー

日本大学芸術学部文芸学科卒。卒業後セガ・エンタープライゼスに入社。2003年に独立し、現在、キューエンタテインメント株式会社ファウンダー&取締役CCOを務めている。ゲームの代表作として、『スペースチャンネル5』、『Rez（レス）』、『ルミネス』、『Child of Eden』など。『Rez』は2002年欧州アリスエレクトロニカにおいて、インタラクティブアート部門 Honorary Mentionなど数多くの賞を受賞、2006年には全米プロデューサー組合が選ぶ世界で注目すべきデジタル系プロデューサー50人に選出される。また2006年には音楽ユニット「元気ロケッツ」のプロデュースを開始し、現在も音楽と映像のハイブリッドな表現を世界に向けて発信している。



・ 茂木 健一郎 / 脳科学者、ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー、慶應義塾大学研究特別教授

東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。主な著書に『脳とクオリア』（日経サイエンス社）、『生きて死ぬ私』（徳間書店）、他多数。専門は脳科学、認知科学。「クオリア」（感覚の持つ質感）をキーワードとして脳と心の関係を研究するとともに、文芸評論、美術評論にも取り組んでいる。

公式サイト

第1回デジタルえほんアワード

<http://www.digitalehonaward.net>

※現在、公式サイトは作成中。9月中OPEN予定。

本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先

デジタルえほんアワード事務局（株式会社デジタルえほん内）

TEL : 03-5114-6722 / FAX : 03-5114-6723

E-mail : info@digitalehonaward.net

<http://www.digitalehonaward.net>

担当：宮本、高木

株式会社デジタルえほん



株式会社デジタルえほんは、“こども”と“デジタル”を総合プロデュースする会社として、2011年設立。「デジタルえほん」の企画・開発、プロデュース、コンサルティングからキッズ向けWEBサイトプロデュース、アプリケーション開発、参加体験型ワークショップその他教育プログラムの企画・開発まで、活動範囲は多岐にわたっている。

<http://digitalehon.net>

NPO法人CANVAS



NPO法人CANVASは、子どものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として、2002年11月に設立。様々なアーティストや専門家、企業、行政等とコラボレーションしながら、子ども向けワークショップ・イベントの企画・開発、プロデュースからプログラムの普及啓発活動、調査研究等を行っている。現在まで約13万人に約1,600コのワークショップを提供するなど、日本全国の子ども向けクリエイティブ活動の底上げをはかっている。

<http://www.canvas.ws>

以上